

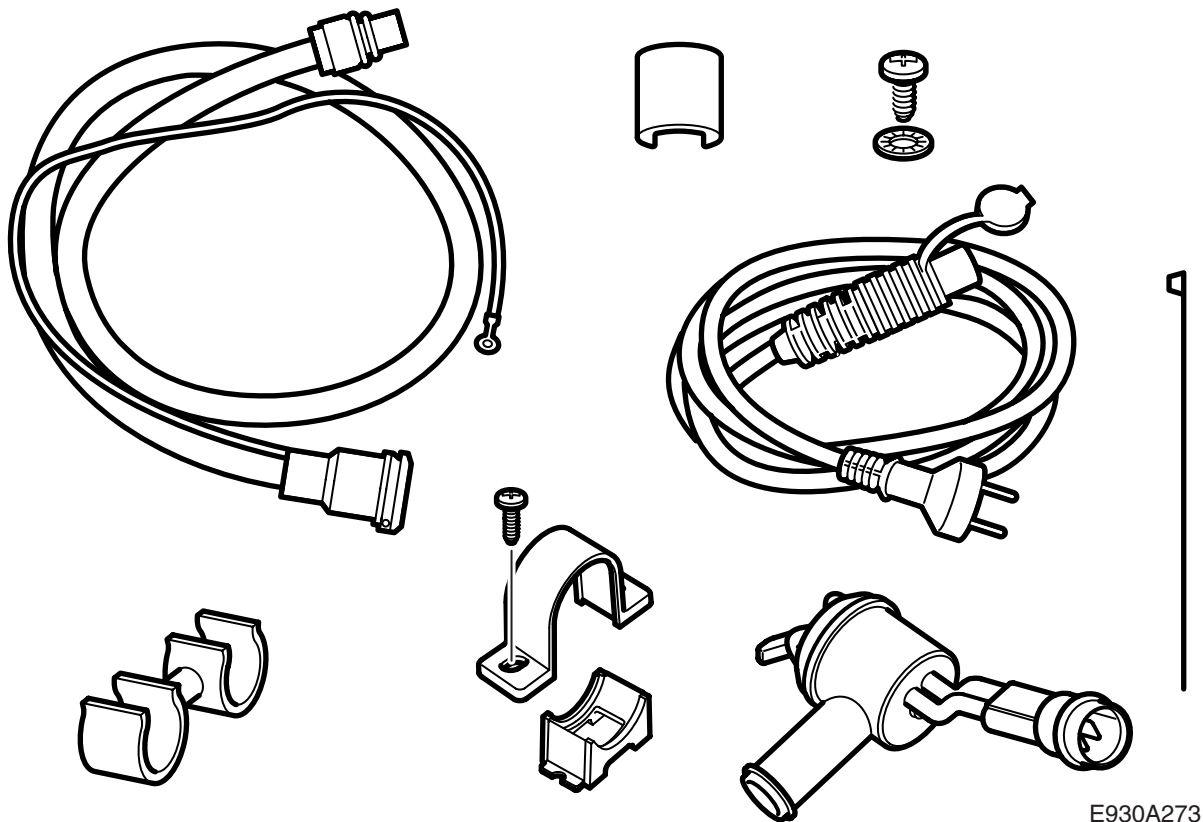


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

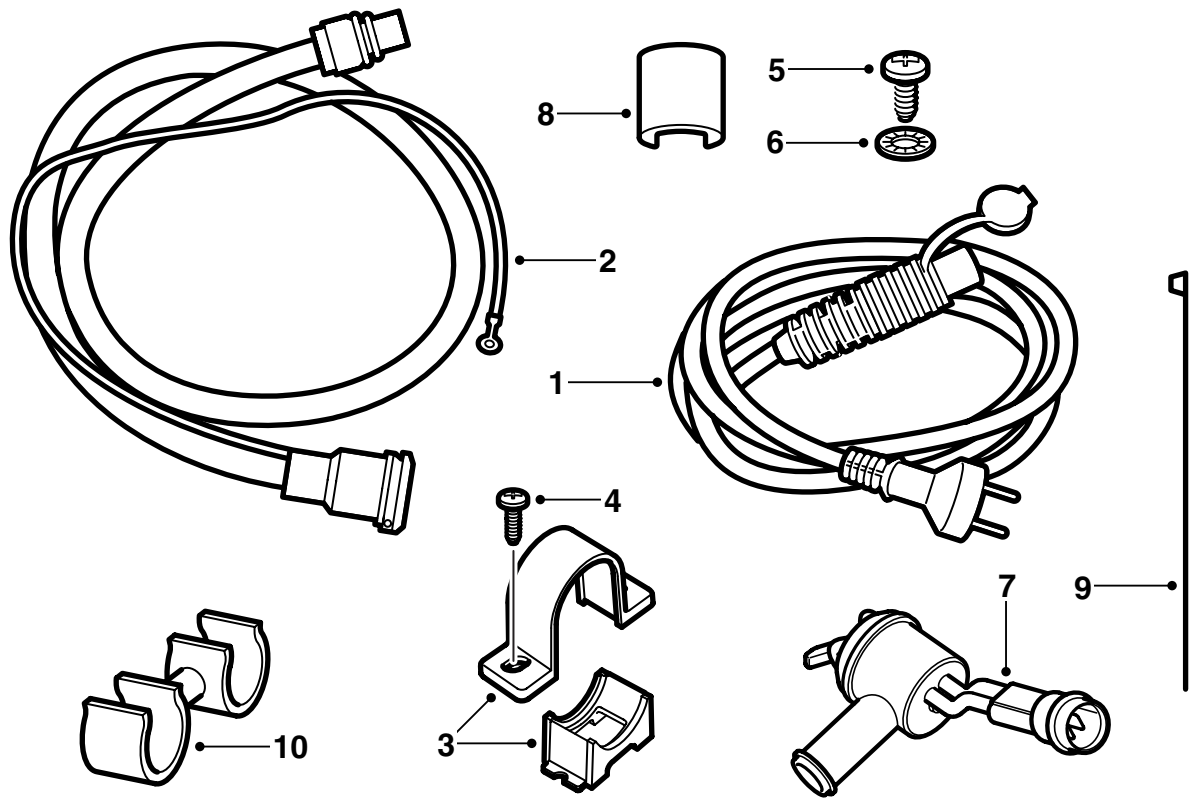
Saab 9-5 D223

パーキングヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 132 049	9:87-33	Jan 02	54 62 411	

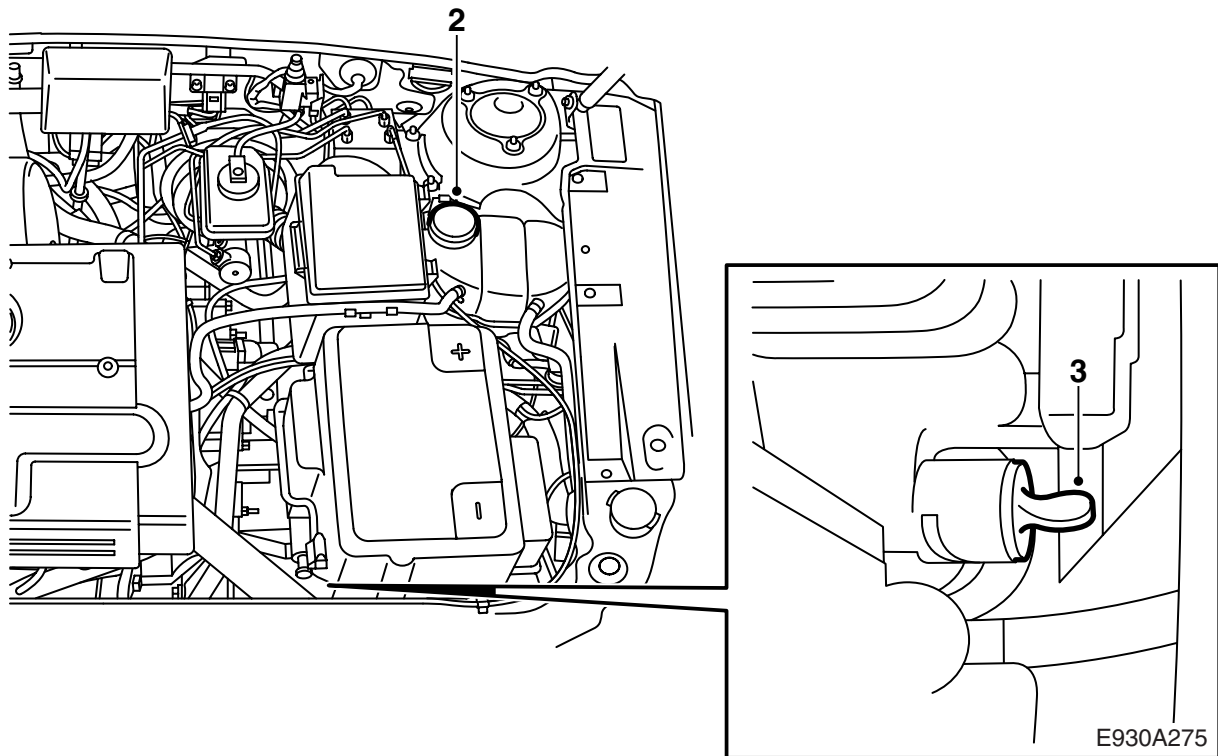


E930A273



E930A274

- 1 延長ケーブル
- 2 コネクターケーブル付きコネクタープラグ
- 3 ホルダー
- 4 ネジ (x2)
- 5 ネジ
- 6 スターワッシャー
- 7 ヒーターボディ
- 8 ロッククリップ
- 9 ケーブルタイ (x5)
- 10 クリップ

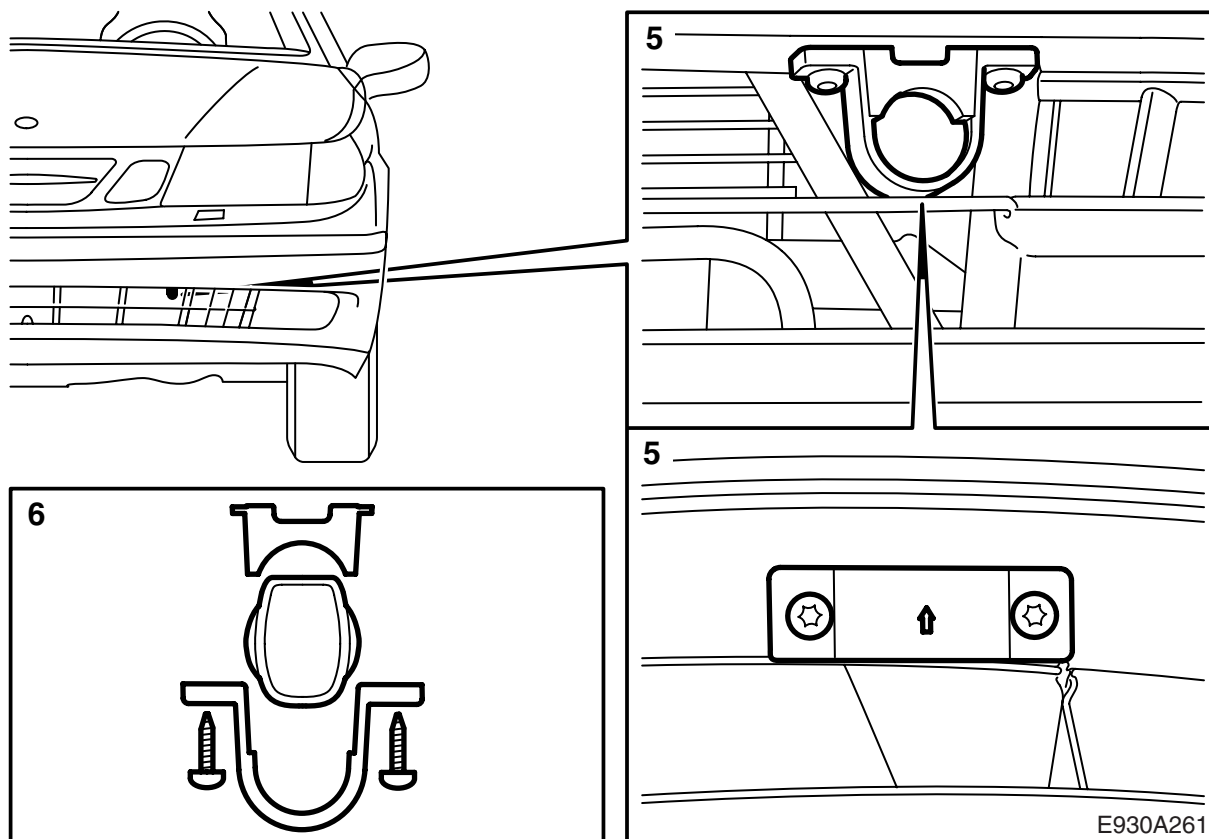


- 1 取り付け説明書全体に目を通し、全ての部品がキットに入っているか確認する。
- 2 フェンダーカバーをかけ、冷却システムのエキスパンションタンクのふたを取る。

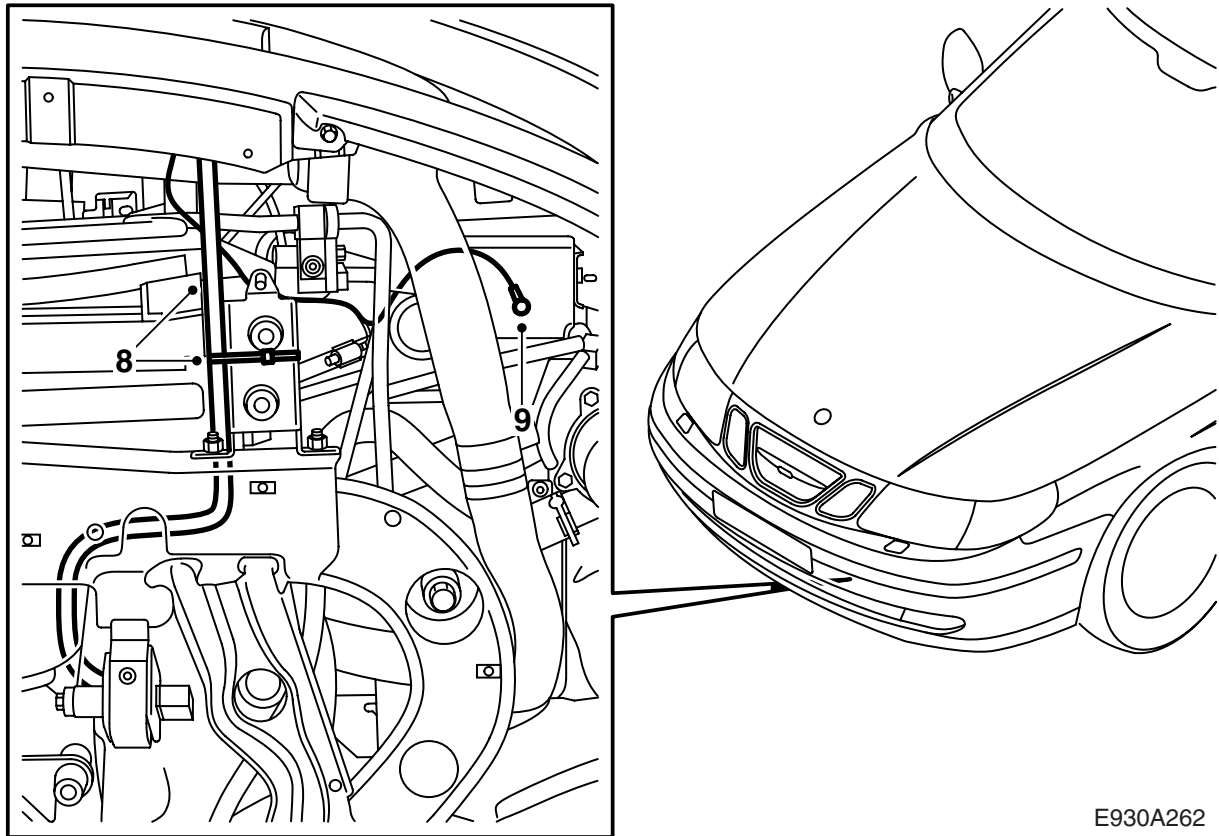
⚠ 警告

車のエンジンが熱い場合、十分に注意すること。冷却液は非常に高温である。エグゾーストマニフォールドでやけどをする恐れもあるので注意する。

- 3 車をリフトアップする。冷却液の受け皿を用意しておく。バンパー背後のエアシールドならびにエンジン底面のサウンドアレスタを取り外して、ドレインプラグにホースを接続し、ドレインプラグを開いて冷却液を抜く。

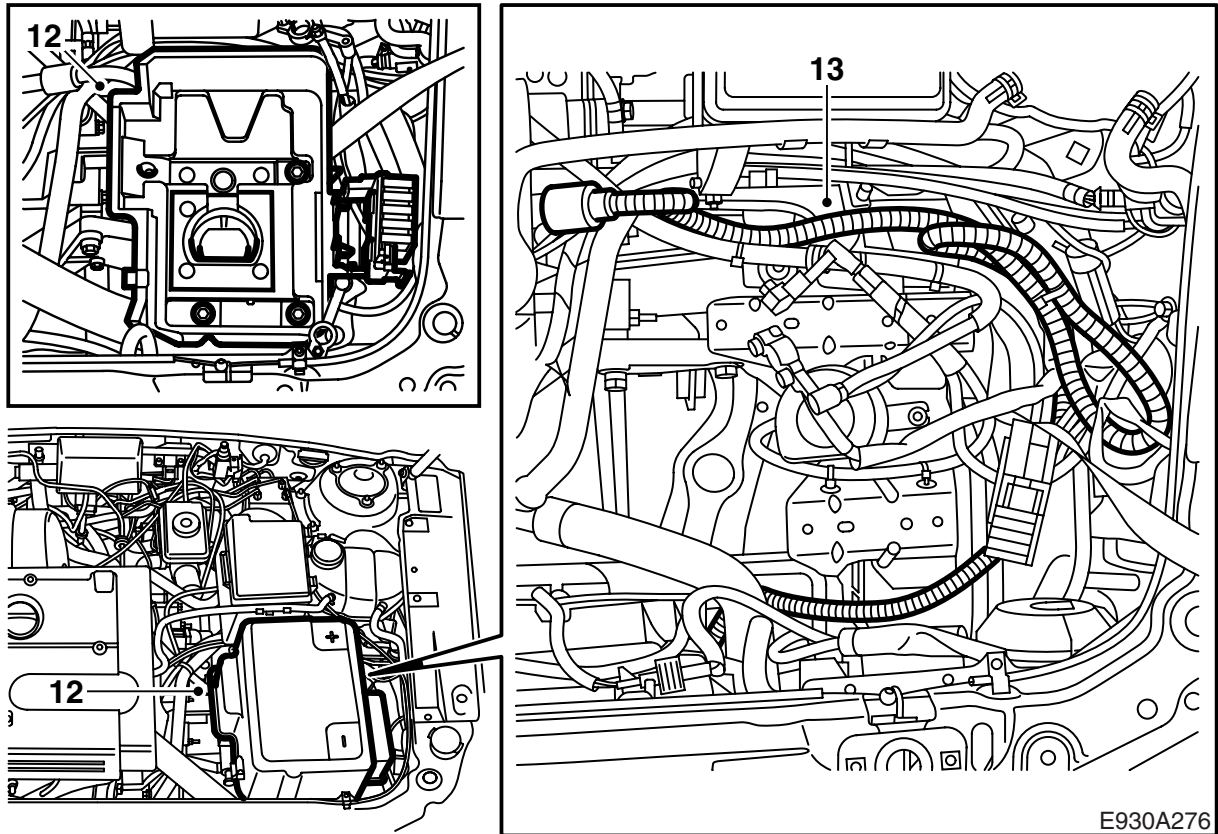


- 4 バンパーシェルにコネクタープラグを取り付けるのに適切な高さまで車をリフトダウンする。
- 5 コネクタープラグ用ホルダーの位置をマークする。ホルダー上の矢印が前向きになっていること。錐で穴を開ける。
- 6 コネクタープラグをホルダーに配置する。ふたが上向きに開くようにする。ホルダーをバンパーに取り付ける。
- 7 車をリフトアップし、ドレインプラグを締める。

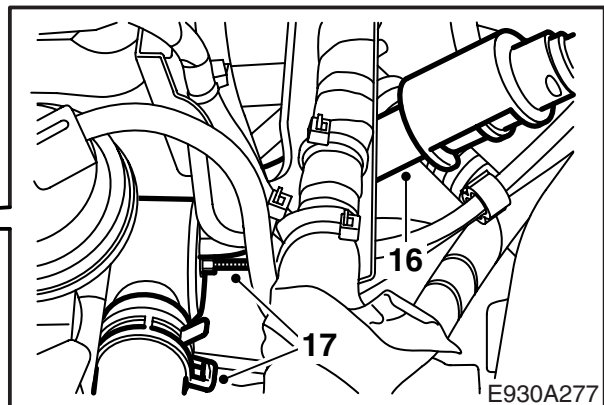
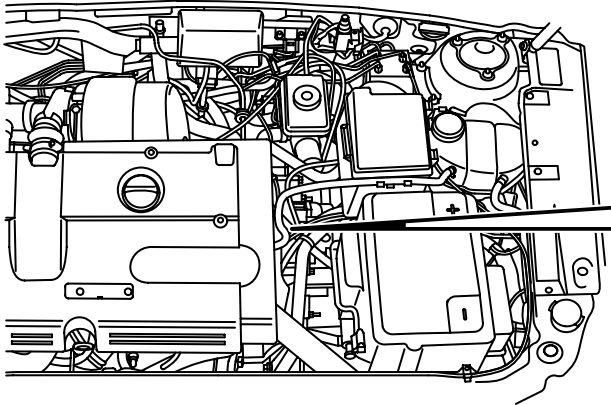
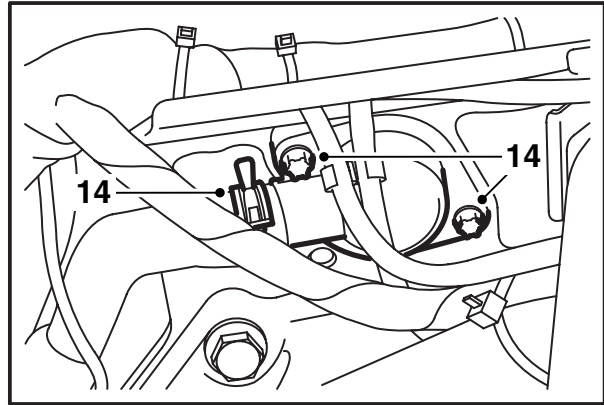
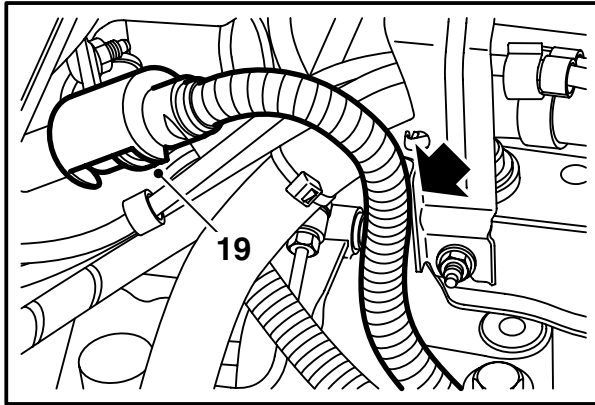


E930A262

- 8 コネクターケーブルをラジエーターとサブフレームの間に挿入する。コネクターケーブルのコネクターをギアボックスの上に置く。
- 9 直径 3.5 mm のドリルビットで、左側の構造フレームの下にアースケーブル用の穴をあける。
- 10 良好なアースのために塗装をこすり取り、アースケーブルをネジとスターワッシャーで締め付ける（スターワッシャーは、アースケーブルのケーブルターミナルと車体間に配置する）。防錆剤（パーツ番号 30 15 971）を薄くスプレーする。アースケーブルをコネクターケーブルに沿って固定する。
- 11 エアシールドとサウンドアレスタを取り付ける。車をリフトダウンする。



- 12 バッテリーとバッテリートレイを取り外す。
- 13 コネクターケーブルをバッテリー配置場所の周囲に敷設し、さらにシリンダーヘッド端面に向けて敷設する。



E930A277

- 14 シリンダーヘッドの冷却液継手から冷却液ホースを取り外し、シリンダーヘッドから冷却液継手を取り外す。
 - 15 アシッドフリーワセリン (パーツ番号 30 06 665)、あるいは同等の製品をヒーターボディの O リングに塗布する。
 - 16 ヒーターボディの T 型カウンターステアを調整し、カウンターステアを垂直に配置して、ヒーターボディにあわせ込む。冷却液ホースの継手パイプが元のホース継手と同じ傾斜角度となるようにする。ヒーターボディを保持するナットは、締め付けないでおく。
 - 17 ナットを締結する。
- 締め付けトルク 3.5 Nm (2.5 lbf ft)**
冷却液ホースをヒーターボディに接続する。
- 18 アシッドフリーワセリン (パーツ番号 30 15 286)、あるいは同等の製品をコネクターケーブルの O リングに塗布し、ケーブルをヒーターボディに接続する。
 - 19 ロッククリップを接続部に取り付ける。ロッククリップが正しく取り付けられると、カチッという音がある。
 - 20 コネクターケーブルをケーブルタイで固定する。

⚠ 警告

鋭いエッジや熱くなった面にケーブルが接触しないように気をつけること。擦り傷や溶解による損傷は、短絡や火災の原因となる場合がある。

- 21 バッテリートレイとバッテリーを取り付ける。

- 22 コネクタープラグのアース端子、ヒーターのケース、および車体間のアース状態を点検する。
- 23 冷却液を補充し、システムの漏れを点検する。
- 24 冷却システムのエア抜きを下記のように行う：

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却システムを MAX レベルまで充填し、エキスパンションタンクのふたを閉じる。

エキゾーストホースを接続する。

エンジンを始動し、回転速度を変化させながら短時間運転する。

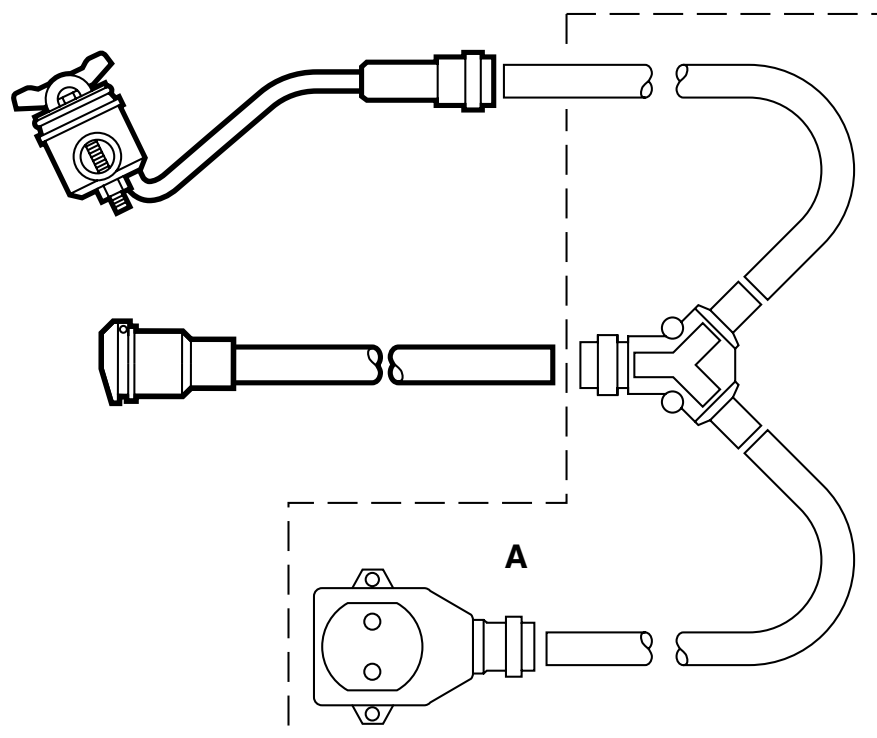
シリンダーヘッドのサーモスタットハウジングからエキスパンションタンクに向かうエア抜きホースを通る冷却液の流れが連続していることを確認する。

エンジンを切り、エキスパンションタンクのフィルターを慎重に開き、MAX レベルまで補充する。ふたを閉じる。

サーモスタットが開き、冷却ファンが始動するまで回転速度を変化させながらエンジンを運転する。

エンジンを切り、必要に応じて MAX レベルまで補充する。

- 25 冷却システムに漏れがないか、また、ヒーターが機能するかを点検する。
- 26 車の時計の時刻および日付の調整を行うとともに、車に搭載されているラジオが Saab 純正ラジオでない場合はラジオコードを入力する。
- 27 取り付け説明書を車内に置き、顧客に対してユーザー指示事項について説明する。



D930A036

A 分岐配線セット

利用の手引き

- 延長ケーブルは、耐油性の屋外使用許可、最低面積 $3 \times 1.5 \text{ mm}^2$ のゴムケーブルであること。
- パークヒーターは、アースされたコンセントにのみ接続すること。
- ケーブル類は注意して取り扱うこと。特にボンネットと車体間に挟まったり、鋭いプレート部で損傷する恐れがあるので気を付ける。



警告

コネクタープラグのアース端子、ヒーターカバーと車体間のアース状態を定期的に点検すること。

- 損傷や劣化がないか、定期的に延長ケーブルを調べる。損傷を受けたケーブルは直ちに交換しなければならない。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがある：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合